

平成29年度花巻市市勢功労者

地方自治功労

新 田 盛 夫 氏

奥 山 隆 氏

教育文化功労

佐々木 隆 氏

産業功労

高 橋 専太郎 氏

民生安定功労

小 原 紀 彰 氏

※ 次ページ以降に記載の各功労者の年齢については、11月3日（表彰式）時点のものになります。

地方自治功労

氏 名 にっ た もり お 新 田 盛 夫 (80歳)

住 所 花巻市東和町前田

生年月日 昭和12年4月1日



主な経歴

平成7年5月～平成17年12月 東和町議会議員(3期10年8月)
平成18年1月～平成26年7月 花巻市議会議員(3期8年7月)
平成18年8月～平成20年8月 花巻市議会副議長(2年1月)
平成18年8月～平成21年3月 岩手中部地区広域市町村圏事務組合議会議員
平成22年8月～平成26年7月 岩手中部広域行政組合議会議員
平成18年2月～平成21年3月 花巻市土地開発公社監事

事績概要

氏は、平成7年5月に東和町議会議員として初当選以来、連続6期19年3か月にわたり市(町)議会議員を務めた。

平成18年8月から平成20年8月までの2年1か月間は、新市発足後2代目の副議長として合併後の議会の円滑な運営及び議会体制の構築に努めた。

東和町議会在任中、教育民生常任委員会の正副委員長を務め、教育や市民生活の向上等に尽力し、町勢発展に貢献した。

その他、産業建設、総務、文教の各常任委員会に所属し様々な分野に尽力したほか、東和町議会議員在任中から合併後も継続して議会運営委員会に所属し、市政の発展と議会運営の円滑化に努めた。

合併後は、岩手中部広域市町村圏事務組合議会議員、岩手中部広域行政組合議会議員も歴任し、悪臭公害対策特別委員会委員、議会改革検討特別委員会委員、花巻市議会定議員政治倫理検討特別委員会委員として特定課題に取り組むとともに要職を歴任し、長年にわたり市勢の発展と地方自治の進展に寄与した功績は極めて顕著である。

地方自治功勞

氏 名 おく やま たかし
奥 山 隆 (73歳)

住 所 花巻市吹張町

生年月日 昭和18年12月23日



主な経歴

平成11年	4月	～	平成17年	2月	花巻市選挙管理委員会委員
平成17年	3月	～	平成17年	12月	花巻市選挙管理委員会委員長
平成18年	1月	～	現在		花巻市選挙管理委員会委員長(合併後)

事績概要

氏は、平成11年4月に旧花巻市選挙管理委員会委員に就任以来、継続して選挙管理委員会委員を務め、平成17年3月からは同委員会委員長を務めている。また、合併後の新市においても選挙管理委員会委員長を務め、現在に至っている。

氏は、長年にわたり選挙管理委員会委員として公正な識見のもと、適正な選挙事務の管理執行に尽力し、民主政治の基盤確立のため寄与された功績は極めて顕著である。

教育文化功労

氏 名 ^さ佐 ^さ々 ^き木 ^{たかし}隆 (86歳)

住 所 花巻市大迫町大迫

生年月日 昭和6年2月19日



主な経歴

昭和34年		大償神楽伝承者として岩手県無形文化財保持者に認定される
昭和45年	1月	大償神楽と岳神楽の「山伏神楽保存会」(現早池峰神楽保存会)設立
昭和51年	5月	大償神楽と岳神楽が「早池峰神楽」の名称で国の重要無形民俗文化財第1号に指定される
平成8年	4月	～平成15年3月 大償神楽保存会会長
平成17年	4月	～平成27年3月 花巻地方神楽協会会長
平成21年	9月	早池峰神楽がユネスコの無形文化遺産に登録
平成28年	4月	～現在 大償神楽保存会顧問

事績概要

氏は、昭和6年に内川目村(現花巻市大迫町内川目)の大償神楽一家の長男として生まれ、7歳のとき祖父から神楽の舞の手ほどきを受け、神楽の後継者として育った。

昭和34年、大償神楽の伝承者として岩手県無形文化財保持者に認定され、神楽の伝承者として研鑽を積み、昭和45年には、山伏神楽保存会(現早池峰神楽保存会)の設立に尽力した。

昭和50年頃から、地元の保育所、小中学校の児童生徒に神楽(しんがく)の演技指導を始め、現在では学校行事に神楽披露が定着し、地域の伝統芸能を身近な存在として普及させることに貢献している。

昭和51年、大償神楽と岳神楽が「早池峰神楽」として国の重要無形民俗文化財第1号に指定されたのを機に、数々の国内外の公演に出演している。

昭和63年、神楽鑑賞ツアーを企画し、神楽による都市農村交流の実現に貢献。平成7年には私有地を開放し、「神楽の館」の設置に貢献した。

平成8年から7年間、大償神楽保存会の会長を務め、その間、平成13年に長い間途絶えていた神楽の「親子三代」の共演を53年ぶりに実現させた。

平成17年4月には、花巻地方の神楽保存団体で組織する花巻地方神楽協会の会長に就任。主催事業であるみちのく神楽大会を毎年開催し、構成団体の神楽の技の向上に尽力した。

平成21年には早池峰神楽がユネスコの無形文化遺産に登録され、国内のほか、ロシア・エルミタージュ劇場など国外でも公演を重ねながら、日本はもとより世界を代表する民俗芸能としての存在を定着させた。

また、後継者育成に熱心に取り組み、子どもたちへの舞の指導を先頭に立って積極的に行っているほか、自らも神楽の舞い手として現在も舞台に立つなど、長年にわたり市勢の発展と教育文化の振興に寄与した功績は極めて顕著である。

産業功労

氏 名 たか はし せん た ろう
高 橋 専 太 郎 (74歳)

住 所 花巻市栃内

生年月日 昭和18年7月6日



主な経歴

昭和41年	笹間農業協同組合	入組
平成元年	花巻市農業協同組合	職員
平成11年	花巻農業協同組合	企画管理部長
平成13年	花巻農業協同組合	参事
平成14年	花巻農業協同組合	常務理事
平成20年 5月	花巻農業協同組合	代表理事専務
平成20年 7月 ~ 平成29年 5月	花巻農業協同組合	代表理事組合長

事績概要

氏は、農業振興と農協経営の健全化のために努力を重ね、昭和41年笹間農業協同組合に入組以来、平成29年5月まで農業・農協の発展のため尽力した。

特に、平成元年に合併した花巻市農業協同組合においては、経営改革を断行し、固定比率の改善や人材育成のため尽力した。また、平成20年5月に広域合併した花巻農業協同組合においては、西和賀から釜石・大槌にいたるエリアの農業振興のため、「ヒト・モノ・カネ」を活かしながら特産物の拡大生産に努め、農畜産物販売額240億円を達成し、農家所得の向上に寄与した。

さらに、農協改革においては、内閣府の審議員として農業の現状や改革の方向性を唱え、農業改革の指針を示した。

また、平成23年3月に発生した東日本大震災の際は、白米一升運動を展開し、被災地に白米46トンを支援したほか、多くの支援物資を提供するなど復興支援に尽力した。

農業情勢や農協運営が厳しくなる中で、卓越した指導力を十分に発揮し、農業の発展と4万2千人の組合員の生活向上を図り、さまざまな農協事業を通じて地域に貢献するなど、長年にわたり市勢の発展と産業の振興に寄与した功績は極めて顕著である。

民生安定功勞

氏 名 お ばら のり あき 小 原 紀 彰 (74歳)
住 所 花巻市西大通り
生年月日 昭和18年3月15日



主な経歴

昭和53年12月	～	現在	小原クリニック院長
昭和63年4月	～	平成10年3月	花巻市医師会理事
平成10年4月	～	平成18年3月	花巻市医師会副会長
平成18年4月	～	平成22年3月	花巻市医師会理事
平成8年4月	～	平成22年3月	岩手県医師会常任理事
平成22年4月	～	現在	岩手県医師会副会長

事績概要

氏は、昭和53年12月より小原クリニックにおいて、花巻地方はもとより、遠野市、旧宮守村も含めた地域で初めて人工透析を開始し、当該地方の人工透析医療の先駆けとして、また、市内で唯一の夜間透析治療を行う医院として、年々増加している人工透析患者の治療に多大な貢献をしている。

また、昭和54年4月に花巻市立桜台小学校の学校医に就任して以来、38年間の長きにわたり地元小・中学校の学校医を務め、花巻市の未来を担う児童生徒の保健衛生に尽力した。

平成11年7月からは11年間にわたり花巻市国民健康保険運営協議会委員を務め、市の国民健康保険事業の健全な運営に資するとともに、市民への病気に関する知識の普及及び予防の啓発のため、保健大学や各種講演会の講師を務めるなど、市民の健康づくり推進や保健衛生行政の進展に多大な貢献をした。

さらには、平成10年4月から平成18年3月まで花巻市医師会副会長として、地域医療体制の充実に多大な貢献をするなど、市勢の発展と市民福祉の向上に寄与した功績は極めて顕著である。